

エクストルージョン(矯正的挺出)

エクストルージョンとは、歯肉の中に埋もれている歯にフックをつけ、矯正用のゴムで引き上げて歯肉の上に露出させる方法です。

そうすることにより、たとえ虫歯や割れた歯であっても土台を立てることが可能となり、被せ物が取り付けやすくなります。

露出させた歯の面積が増えることにより、歯を抱え込むように被せ物を作ることができるため、取れにくく長持ちするようになります。

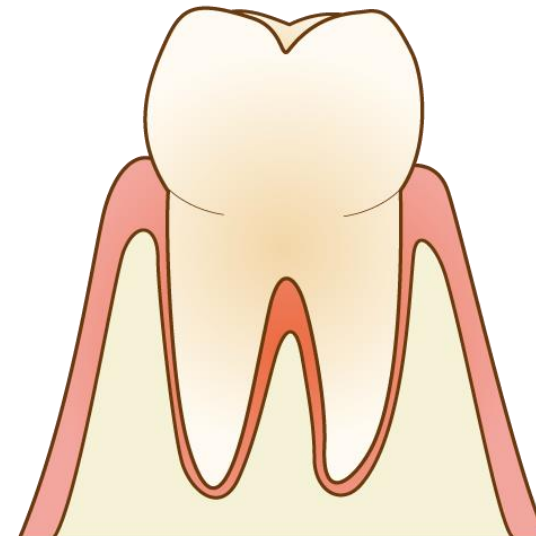
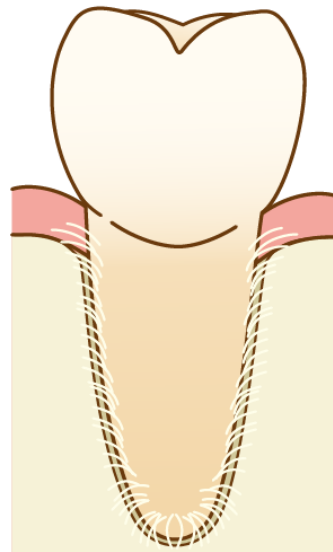


エクストルージョンの対象となる歯

エクストルージョンは、基本的には歯根が1本に対して行われることが多く、根が3本あるなど、複雑な形の根を持つ歯は対象外となります。

さらに2本以上同時に歯を引っ張る際は、エクストルージョンの適応が難しくなります。また、両隣の歯がグラグラしている場合や大きな虫歯がある場合、歯周病がかなり進行している場合など、隣接する歯の状態が悪いとしっかり固定できないため、対応が難しい場合があります。

特に前歯など歯肉のラインが変わるところにはエクストルージョンが適応になります。



エクストルージョンの目的

● 抜歯するしかない状態の歯を残す

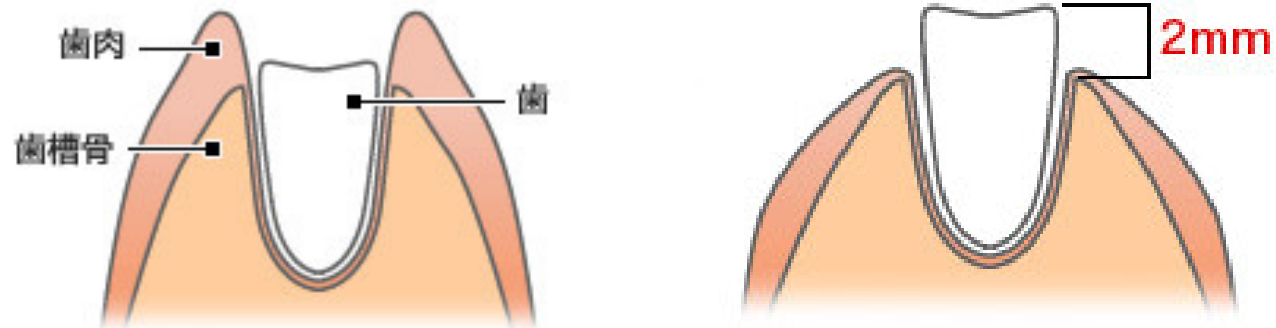
重度の虫歯や、歯が割れたり折れたりして、歯肉より上の部分がほとんど失われているケースでも、患部の下にある健康な部分を歯肉の上に出せれば、抜歯をせず歯を残せる場合があります。

しかし、エクストルージョンでは矯正力によって虫歯を少しずつ引き上げ、歯周組織を調整してから最終的な治療を行います。

このような治療は条件が揃わなければなりません。一つひとつの処置を精密に行うことで健康な状態の歯を残せます。

● 被せ物を外れにくくする

歯にクラウン(被せ物)を被せたとき、土台として接触する象牙質の部分(フェルール)が大きいほど、歯へのダメージが少なくなります。エクストルージョンで埋没部分を引き上げて「土台」を十分に確保できます。



エクストルージョンのデメリット

●歯根が弱くなる

歯根を引っ張り上げることにより、相対的に歯根の長さが短くなります。そのため、維持力が落ちたり、歯根が割れやすくなる可能性が高くなります。

対処法として隣の歯と連結する場合があります。

●術後に外科処置が必要になることがある

歯を引っ張った後に、骨の形や歯肉の状態を揃えるため、外科的な手術が必要になる場合があります。外科処置が必要な場合は、事前にしっかりご説明をさせていただきますのでご安心ください。

治療手順

1:根管治療

根の治療が必要な方は根の治療をしていきます。根の治療がしっかりしていないと治療後に痛みがでたり、被せ物をした後に根の治療が必要になる場合があります。

2:フックとワイヤーの固定

根にフックを埋め込みます。また両隣の歯に牽引装置を接着剤で付け、装置を固定します。

3:フックとワイヤーをゴムで繋ぐ

矯正用のゴムでフックと牽引装置をつなげます。このとき、反対側の歯に装置が当たらないよう調整します。矯正中は仮歯を装着しますので、日常生活の見た目には支障はありません。

4:ゴムの力で引っ張り上げる

定期的にゴムを交換し、歯根を少しずつ引き上げていきます。その後被せ物によって歯の修復を行います。